第３４回アーツ前橋運営評議会　意見等

資料１－(1)

１　主な意見

(1) アーツ前橋でも、学校からバスを出して鑑賞に行くことなどができたら良いなと思っている。

⇒学校連携に関して、財政状況なども踏まえ、まずは先生や部活動などにアプローチしていきたい。

(2) この規模の美術館で地域とのプログラムをやるとなると、人手が足りていないのではと思う。定数を増やしてもいいと思う。

⇒人事担当部門にも意見を伝えていきたい。

(3) 作品の多い少ないに関係なく、コレクションを公開することが公立美術館の使命であり義務であると考える。そのあたりのバランスを今後考えていく必要があると思う。

⇒まずは、収蔵作品のデータベースの公開やコレクションを活用した展覧会などを行っていきたい。

(4) 情報を残すということも美術館の義務であると考えている。ぜひ図録の作成を検討してほしい。

⇒実施事業の情報について、図録の作成を含めアーカイブ化を意識していきたい。

(5) 収蔵作品の台帳に関して、デジタルと紙を統合していくことは必要だと思うが、しばらくは併用していくのが良いと思う。

⇒各台帳により掲載情報や掲載種別（作品か資料かなど）が異なるため、紙資料を整理し、しばらしくは併用して運用していきたい。